

令和3年11月13日
横田小学校区別協議会

これまで議論してきた内容

1. 横田小学校区協議会として議論していること

令和4年3月までに奥出雲町教育委員会より、再編方針について同意するかしないか、という結論を求められた。その判断をするためには「どういう子どもたちを育てていきたいか」「どういう教育を子どもたちに受けていって もらいたいか」「学校と地域の関わり合いはどうしていきたいか」という議論が必要であると当協議会は考え、これまで議論をしてきた。また、当協議会は、この再編の議論するにあたって、「誰のための再編なのか」ということを考えたときに、「今いる、そして生まれてくる未来の子どもたちのため何が必要か」という軸を持って議論をしている。今後も昨今の子どもたちとかわりを持つ機関の現状を考慮しつつ、その軸はぶれずに議論を進めていきたいと考える。

2. 子どもたちの現状について 感じていること

子どもたちの現状について、共有を行った。たくさんの良い点もあるという認識を改めて持つことができた一方で、改善すべき点も出された。※詳細別紙

3. 家庭・地域・学校（行政）が果たす必要がある役割・

統合・小規模校のメリットとデメリット

子どもたちの現状について分析をしたうえで、①家庭②地域③学校（行政）がそれぞれ取り組んでいくこと（果たすべき役割）について、様々な視点を通して議論をした。改めて現状を理解したり、理想を共有したりする中で、今後必要になってくることについて別紙のとおりまとめた。※詳細別紙

4. 今後について

現在、横田小学校区別協議会は保護者12名のみで構成されている。これまで協議会だよりの作成などを行い、保護者を中心に参加を呼び掛けているが、なかなか参加していただける方が少ない現状である。今回の再編をするかしないかを考えることを契機に「子どもたちにどのように育ててもらいたいか」ということを大人、とりわけ親たちが考えるいい機会であると考えている。引き続き、議論への参加を呼びかけを行っていく予定である。

当協議会にはこれまでの経緯もあり、地域の方が入っておられない。今後、学校と地域の連携を図っていくうえでも、教育振興会などの方々にご参加いただき、様々な意見をまとめていきたいと考えている。

2. 子どもたちの現状について 感じていること

<良いと思われる点>

- ・ふるまい7か条の策定により、挨拶などがしっかりできる子が多い
- ・素直で友達想いの子が多い
- ・学年を問わず仲が良い。

<改善が必要と思われる点>

- ・やる気が感じられず、自分から行動しない
- ・自己肯定感の低さ
- ・仲が良すぎるために、上下関係などの礼儀がなっていない
- ・自分の考えや意見を述べられない
- ・友達グループの固定化
- ・学習に対する意欲の低下

※現在の保護者中心とした横田小学校区別協議会として出てきた意見・考えです。

3-①. 家庭が果たす役割

～子どもたちとの接し方～

<現状>

- ・子どもたちの自己肯定感が低くなってきていると感じている。
- ・親も仕事などで忙しいなど子どもと接する時間が少なくなってきた現状が推測される



<取り組んでいく内容>

- ・親が子どものことを理解しようとする姿勢を持つ
- ・子どもと一緒に過ごす時間を増やす
- ・子どもをほめる
- ・子どもたちの思いなどを否定から入らないようにする
- ・子どもの教育への無関心を減らす
- ・朝晩、一緒にいるときは必ず挨拶をするようにする

※現在の保護者中心とした横田小学校区別協議会として出てきた意見・考えです。

3-①. 家庭が果たす役割

～大人(親など)たちが子どもたちに見せる姿～

<現状>

子どもと接する時間が少なくなってきたおり、大人たちの姿を子どもたちがしっかりと見ることができない現状があると推測される



<取り組んでいく内容>

子どもたちは一番身近な親や一緒に住んでいる祖父母などの姿を見ながら成長していくものと考えられる。そうした中で、大人たちが下記のようなことに取り組み、子どもたちと一緒に学ぶという姿勢が必要であると考えられる。

- ・親や大人のチャレンジする場所が必要
- ・大人が失敗する姿を子どもたちに見せる
- ・大人が子どもたちと一緒に学ぶ時間を作る
- ・大人が積極的に子育てのことについて学ぶ

※現在の保護者中心とした横田小学校学区別協議会として出てきた意見・考えです。

3-①. 家庭が果たす役割

～メディアとの付き合い方～

<現状>

インターネットやスマートホンの普及、さらにはインターネットゲームや、SNSや動画配信サービスの発達により、子どもたちに限らず、大人たちもメディアと接する機会が多くなってきた現状がある



<取り組んでいく内容>

- ・メディアの使用の仕方についてルールを決める
- ・親自身も、子どもが話しているときにスマホをかまわない
- ・メディアに依存しない生き方を模索していく
- ・e-スポーツなど今後新たな技術も発達していく中で、新しいものに触れていく機会も必要

※現在の保護者中心とした横田小学校学区別協議会として出てきた意見・考えです。

3-②. 地域が果たす役割

<理想>

地域とのかかわりあいを積極的に持ち、奥出雲が好きな子



<取り組んでいく内容>

- ・ふるさと学習の継続
- ・奥出雲町外のことを知ることで奥出雲の良さを知る
- ・地域の見守り活動の継続
- ・世代間交流をより活発にする

※現在の保護者中心とした横田小学校区別協議会として出てきた意見・考えです。

3-③. 学校(行政)が取り組んで いてもらいたい内容

- ・GIGAスクール構想の中における学びの個別化
- ・ふるさと教育の充実
- ・国際交流（タイやオランダ等）
- ・放課後教室の開催
- ・キャリア教育の充実（夢について考えると同時に現実もしっかりと知る必要がある）
- ・義務教育学校や、コミュニティースクールの導入
- ・集団に馴染みにくい子どもたちへの対応（サードスペース）の充実
- ・外部人材の登用
- ・金融教育
- ・生活に役立つ（生きる）ための勉強
- ・哲学的対話の導入
- ・給食の産地表示

※現在の保護者中心とした横田小学校区別協議会として出てきた意見・考えです。

統合のメリット・デメリット

<メリット>

- ・生徒数が増えることで多様な人と関われるようになり、コミュニケーション力がつく
- ・役割が固定化しにくくなり、行動の幅が広がる
- ・学力などの高め合う相手が身近に多くおり、競争意識が芽生え、より成長できる
- ・複式学級がなくなり、単一学年での行事ができるようになる
- ・人数が集まることでできるスポーツ、音楽などが手軽に体験できるようになる
- ・他地区のことに興味を持つ機会が増え、また、実際に活動をしに行くことによって奥出雲町全体のことを知ることができるようになる
- ・地域の再整備（これまでやってきたことの行事等の意義を再確認していくことができる良い機会になる）
- ・親同士の交流の幅が広がる
- ・統合を契機にカリキュラムの見直し、時代に合ったやり方を模索し切り替えていく
- ・各学校に振り分けられる予算を増やせる可能性がある（教員配置数の増加等）
- ・経費の削減

<デメリット>

- ・登下校の時間増による子どもたちが自由に使える時間が少なくなる
- ・きめこまやかな指導ができない可能性がある
- ・大人数になじめない子や劣等感を感じる子等への配慮はより一層必要
- ・災害発生時の対応をどのようにとるか
- ・PTA等の役員選任が難航する可能性がある
(意見がまとまりにくい可能性がある)
- ・旧校区によるグループ化が起きる可能性がある
- ・地域からの寄付が集まりにくくなる可能性がある
- ・見守り活動や地域の人からの声かけができにくくなる可能性がある
- ・母校がなくなり寂しい気持ちが出てくる
- ・統合したことにより、廃業する店が出てきたり人口減の可能性がある
- ・施設や土地の利活用

※現在の保護者中心とした横田小学校区別協議会として出てきた意見・考えです。

小規模校のメリット・デメリット

<メリット>

- ・一人一人に目が届きやすいため子どもの変化に気づき、きめ細やかな教育・指導ができる
- ・他学年とのつながりが増える
- ・少人数だからこその仲の良さや一体感が生まれる
- ・通学が楽である
- ・親同士のコミュニケーションが取れ、つながりが強くなる
- ・学校として独自色（ユニークな取り組みの実行）を出しやすい
- ・地域との関わり合いが強くなり、その地域のふるさと学習が充実する
- ・人数が少ないことで自分が関わるという意識を持てる
- ・子どもの顔が分かりやすいことで防犯にもつながる
- ・病気の蔓延が少なくなる
- ・非常時にまとまって行動しやすくなる
- ・町内に1校小規模校があってもいいのではないか
(大人数になじめない子どもたち用に)

<デメリット>

- ・人数が少ないことにより、チーム行動が学べない、クラブ活動ができないなどが出てくる
- ・複式学級による学力面の不安
- ・多様な意見や人と交われないことによる思考力の低下や競争心の低下
- ・運動会など小学生だけでできない可能性がある
- ・都会になじめなくなってしまうのではないかと
- ・子どもたちがその環境から逃げられない
- ・役割の固定化が続く
- ・大人対子どもの構図のまま（子ども同士の関わり合いが少なくなる）
- ・先生の質に左右される
- ・学校の修繕や維持への負担が増える
- ・毎年、統合をいつするかなど考える必要が出てくる
- ・極小規模校はこれまで誰も経験したことがない

※現在の保護者中心とした横田小学校区別協議会として出てきた意見・考えです。